

平成 28 年 8 月 12 日
一般社団法人 日本船主協会 総務部

海からみる名古屋港&飛島コンテナターミナル見学会を開催

当協会は、海運の重要性を一般の方々にご認識いただくべく広報活動に力を入れており、特に青少年を対象に海運や船員の仕事への理解増進に取り組んでおります。この夏、「海と日本プロジェクト」の一環として「船ってサイコ〜2016 せんきょう夏休みキャンペーン」と銘打ち、船に親しんでいただくための様々なイベントを展開しております。

同プロジェクトの一環として、8月5日に名古屋港管理組合および飛島コンテナ埠頭株式会社のご協力の下、港務艇「ぼーとおぶなごや2」乗船および飛島コンテナターミナル見学会を開催しました。

同見学会には約30名が参加し、日本初の自動化コンテナターミナルでは、遠隔でコンテナの積降を作業する様子などを見学するとともに、港務艇では、海から名古屋港を行き交う自動車船・セメント船・鉱石船など様々な船舶を見学することができ「普段見ることのない船やコンテナターミナルでの荷役作業の様子を間近に見て普段の日常生活が船によって運ばれていることを感じた」などの感想が寄せられました。

当協会は、今後も皆様の生活を支える海運を広く知っていただくための活動を展開して参ります。



自動でコンテナが船に積まれていく様子を見学する参加者（左）および海から名古屋港に関する説明を受ける参加者（右）



名古屋港を行き交う日常生活を支える船

